福場辰洋

深海観測技術のフロンティアを開拓する

海を拓く現場計測研究会　RC-91

代表幹事
福場辰洋（東京大学 生産技術研究所 特任准教授）

幹事
金　秀炫（東京大学 生産技術研究所 講師）
下島公紀（東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 教授）
尾張聡子（東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 助教）
岡村　慶（高知大学 教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 教授）
野口拓郎（高知大学 教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 准教授）
許　正憲（海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 特任上席研究員）

連絡先
福場辰洋
Tel　：03-5452-6482
e-mail：domat91@iis.u-tokyo.ac.jp

主旨

海洋における物理・化学・生物パラメータの計測技術は、現場型センサなどの開発により時空間的な測定限界を克服しつつあり、長期・広域計測に加え、IoT技術と連携した分散センシングなどの新たな試みも始まっている。これらの海洋計測技術は、沿岸域から深海、そして海底下も含めた海洋環境の科学的根拠に基づく継続的な調査に有用であり、計画的な海洋の利用に不可欠な要素となっている。SDGs時代を迎え、海洋生物資源の保全と持続的な利用に資するための基盤となる、海洋情報の全容を把握するためのツールとして、高度な調査手法とそれを支える計測技術は今後さらなる発展が予想される研究分野であり、また国際的な競争も激しくなると予想される。そこで、先端技術の民間企業への技術移転などによって我が国の次世代海洋調査を強力に推進するためのロードマップ策定の必要性が高まっている。

本研究会では、新たな計測技術に基づいた海洋調査技術のフロンティアについて情報交換するフォーラムを開催し、研究開発のトレンド・市場ニーズ・共同研究のあり方などのトピックについて多角的に議論を行うと共に、積極的なフィールドの利活用の促進によって研究者や民間企業の新たな計測技術の展開に貢献する。

参　加　費：賛助員の場合　：20万円（別途賛助員年会費１口10万円がかかります）
　　非賛助員の場合：30万円
　　※上記以外の参加形態もありますので、詳細はお問い合わせ下さい。
定　　員：参加企業数の制限なし
運 営 方 法：年４回程度の研究会を生産技術研究所所内または幹事所属の所外機関等において開催する。
　　年１回程度のフィールド観測会を国内のフィールド等において開催する。

（上）海底下観測プラットフォーム（スピアヘッド）の海中投入（高知大学）
（下）海洋現場計測用マイクロ流体デバイス（東京大学・JAMSTEC）

AUVと小型化学センサにによる海洋計測（QICSプロジェクト、東京海洋大学）

特別研究会申込方法

下記連絡先まで電子メールでお申し込みください。

連絡先：一般財団法人　生産技術研究奨励会　特別研究会係
〒153-8505 東京都目黒区駒場４-６-１ 東京大学生産技術研究所内Dw４０５
TEL：０３（５４５２）６０９５
e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp

●HPアドレス：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_2022.html
●特別研究会会員規則：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_gazou/rc2022/RC-kaiin-ki.pdf

2022年度　特別研究会申込書

特別研究会会員規則に同意の上、お申し込みください。　　申込日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

いずれかに○をつけてください。

[　　] 新規

[　　] 継続（継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。）

（1）特別研究会No.　：RC-

（2）貴社名　：

（3）参加者（参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。）

（フリガナ）
■氏　名　：

■所　属　：

■役　職　：

■勤務先所在地　：〒

■電話番号　：　　■Fax：

■E-mailアドレス　：

（4）事務担当連絡先（上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。）

（フリガナ）
■氏　名　：

■所　属　：

■役　職　：

■勤務先所在地　：〒

■電話番号　：　　■Fax：

■E-mailアドレス　：

賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。
2. 既に賛助員であるが、増口する。　＿＿＿口（１口につき年会費10万円）
3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。　＿＿＿口（１口につき年会費10万円）
4. 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。
賛助員の詳細については、http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.htmlをご覧ください。